

令和5年8月6日  
今週のベストショット



雁レクD 奈多サンデーズ 対 ソルトベイスターズ戦  
一回裏、奈多サンデーズ松本左翼手からのバックホームで見事タッチアウト！  
写真：奈多フェニックス 山本 健一

**青松園B 序盤は両エースの奪三振ショー！しかし終盤に三球会打線が爆発する**

三苦三球会 (6勝1敗) 00057 12 鮎川○-藤澤(隆)

新町ウィングス(2勝4敗) 00001 1 藤田●-今林

HR：濱口(三球会) 3BH：大津(三球会)、町田(新町ウ) 2BH：岩本(三球会)

盗塁：岩本・大津(三球会)

両チーム好投手の鮎川投手・藤田投手の両エースの先発で試合開始。一回表新町ウィングス藤田投手は二連続三振の後、三番鮎川選手に二塁打を打たれるが後続を抑える上々の立ち上がり。その裏三球会鮎川投手は更に圧巻の三者連続三振。両投手が最高の立ち上がりを見せる。その後も鮎川投手は二回に2つ、三回には再び三者連続三振とペースを上げる。対する藤田投手も三回までは四球もありながら5つの三振を奪い無失点に抑えこのまま投手戦の展開が予想された。しかし四回表三球会は、失策・連続四球で満塁とすると、一番岩本選手のタイムリー2ベースで均衡を破ると、ワイルドピッチや四番大津選手のタイムリー3ベースなどでこの回5点を奪う。続く五回表も三球会四番濱口選手の満塁HRなど打者11人の猛攻で7安打7得点を奪い勝負を決定づける。最終回となる五回裏のウィングスの攻撃は、ここまで鮎川投手の前にノーヒットに抑えられる中、二死となり万事休すかと思われたが、八番野田選手がチーム初ヒットの3ベースを放つ。四球でつないだ後に一番山口選手がタイムリーを打って何とか一矢報いることができた。両投手ともに好投を見せる序盤だったが、三球会の綺麗なヒットばかりではないが、粘り強い打線のつながりがこの得点差につながったと思われる。鮎川投手の多彩な球種で的を絞らせない投球術も光った試合だった。(記事：和白新町パイレーツ 白岩 将義、写真：今村 慎太郎)



先頭バッターを三振にとるウィンズ藤田投手。



この試合9奪三振の三球会鮎川投手。



ウィンズ野手陣の見事な中継プレーでHRは阻止。



最終回到三塁打を放ったウィンズ町田選手が生還。



満塁HRの三球会濱口選手。



1点をめぐる最後の攻防。

### 青松園A どちらも譲らない接戦！

三苦ホーネッツ (5勝1敗) 101003 5 平川、矢野○-広木

雁の巣ライナーズ (3勝3敗) 002001 3 柴田●-有村

HR: 久保田 (美)、正内 (雁の巣) 3BH: 川原 (三苦ホ) 2BH: 阿重田 (三苦ホ)、有村 (雁の巣)

盗塁: 川原2 (三苦ホ)、明瀬 (雁の巣)

初回、三苦ホーネットスの攻撃は、一番の広木選手がレフト横の倉庫屋根を直撃するファールを放ち会場を沸かせ、そのまま四球を選びチャンスを作る。後続は、正内選手の好捕に阻まれるも、ワイルドピッチを誘いだし1点を先制する。その裏、雁の巣ライナーズの攻撃は、ホーネットス矢野三塁手の流れるようなグラブ捌きにより流れを断ち切れ無得点で終える。二回裏ライナーズは、一死満塁のチャンスを作るも、後続が三振とセンターフライに打ち取られ反撃を抑えられる。三回表ホーネットスは、二死一三塁のチャンスから、四番堺選手の打球はショート正面のゴロ。ここで一塁ランナーの西村選手が足で魅せ、セカンドでセーフを奪いその間に1点を追加する。三回裏ライナーズは、一番明瀬選手がショートへ痛烈なヒットを放ち出塁、すかさず二塁へ盗塁を決めてチャンスを作る。続く、久保田（美）選手が左中間を超える2点本塁打を放ち同点に追いつく。更に、有村選手にも二塁打が生まれ、ホーネットス平川投手をマウンドから引きずり降ろすことに成功する。しかし、ホーネットス二番手矢野投手が好リリーフ見せ、後続を無失点で打ち取り、相手に傾きかけた流れを渡さない。五回表ホーネットスの攻撃、川原選手のバントなどで相手の失策を誘いチャンスを広げる。しかし、ここから、柴田投手が圧巻の投球を見せる。ギアをトップに切り替え後続を三者連続三振に打ち取り、最高の形でインニングを締めくくる。その裏、ここで1点が欲しいライナーズは、有村選手のレフト前ヒットで明瀬選手が果敢にホームを狙うがクロスプレーで惜しくも1点ならず。六回表ホーネットスは、阿重田選手の二塁打などで無死二三塁のチャンスを広げ、ワイルドピッチを誘い1点を奪い取る。その後も、犠牲フライと三塁打でダメ押しの2点を追加。六回裏ライナーズは、この回先頭の正内選手のレフトフェンスを超える弾丸ライナーで1点を返し、反撃ムード作るも、矢野投手が後続を連続三振に打ち取りゲームセット。好投、好打、好守、好走がそろった、互いに譲らない接戦はホーネットスに軍配があがった。

（記事：ブルーマーリンズ 江頭 秀一、写真：山本 憲明）



試合開始。



雁の巣ライナーズ先発の柴田投手。



ホーネットス先発の平川投手。



三盗を決めるホーネットス川原選手。



ホーネッツ先発の平川投手。



三盗を決めるホーネッツ川原選手。



果敢に1点を取りに行くライナーズ明瀬選手。



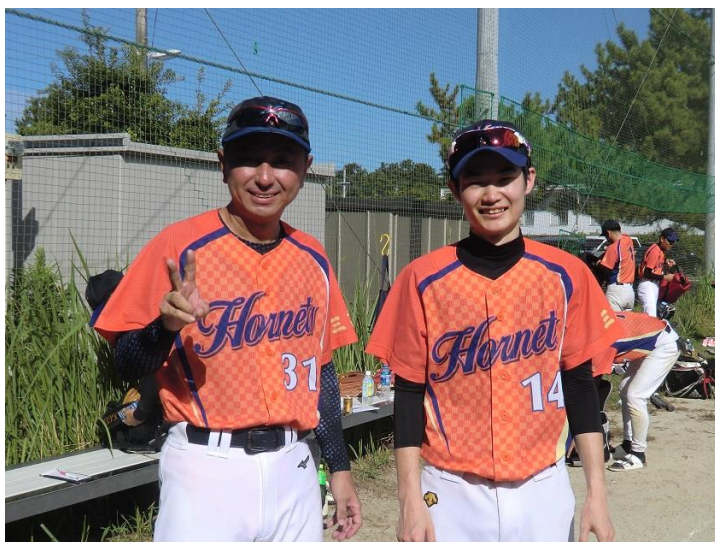
決定打となった本塁へ生還ホーネッツ稲葉選手。



フェンス越えHRを放つライナーズ正内選手。



HRのライナーズ久保田選手（左）と正内選手（右）。



今日のヒーロー、ホーネッツ阿重田選手と只松選手。

## 雁レクD ソルトベ이스ターズ最終回の反撃も及ばず

奈多サンデーズ (5勝1敗) 12004 7 江口○ー川原

ソルトベ이스ターズ (2勝2敗2分) 10103 5 酒井●、江良ー山の川

HR: 江口、土田 (奈多サ) 3BH: 近藤、八島 (奈多サ) 酒井 (ソルト)

2BH: 新郷、石井 (ソルト) 盗塁: 山崎2 (奈多サ)、酒井 (ソルト)

先攻奈多サンデーズで試合開始。初回サンデーズは先頭の山崎選手が四球で出塁して二死となるも四番近藤選手のタイムリー3ベースで幸先よく先制。その裏、ソルトベ이스ターズは先頭の新郷選手がライトへの2ベースで出塁、続く吉田選手も内野安打で繋ぎ、無死一三塁のチャンスで三番江良選手がレフトフライ。タッチアップを試みるもサンデーズ松本左翼手の好返球によりホームタッチアウト！しかし、続く四番野口選手が繋ぎ、五番酒井選手のタイムリーで同点に迫いつく。二回表サンデーズは、一死一塁から八番江口選手がライト線へ技ありのHRで2点を勝ち越す。その後、ソルトベ이스ターズも1点を返すがサンデーズはさらに五回表一番からの好打順。四球、二番八島選手のレフト線三塁打、エラー、六番土田選手のHRもあり一挙に4得点で試合を決めたかに見えた。しかしその裏、ソルトベ이스ターズの反撃、先頭の石井選手の二塁打を皮切りに3得点を挙げますが反撃もそこまで。サンデーズが逃げ切り一進一退のゲームを制した。(記事・写真: 奈多フェニックス 山本 健一)



一回裏、レフト松本選手の好返球で同点を阻止する。



ワイルドピッチの間に生還する八島選手。



江良選手の犠牲フライで点差を縮める。



江口投手が最後の打者を打ち取る。



三塁打を放ったサンデーズ八島選手(左)と近藤選手(右)。



HRを放ったサンデーズ江口選手(左)と土田選手(右)。

・記事の最後に記事を書いた方と写真を撮った方のフルネームを必ず入れてください。

・各チームごとにスコアブックとメンバー表を1枚にまとめて、切れることなく・影が写ることなく撮影してください。その写真1枚でイニングや打順、選手名等のチェックができれば編集時間を短縮できます。



・写真には掲載する順番がわかるように必ず番号を振って送ってください。ダウンロードすると、写真の名称順になり順番が変わってしまう。写真の内容は本文の後ろに番号とともに書いていただいても結構です。



- ・後方からのバッター写真は、アングルの的に有り触れてつまらない。ランナーコーチ横やセンター後方、ランナーと正対した位置などから表情が見えるものを撮影してみてもいい。もっとアグレッシブに動いて撮影を！
- ・記事と写真は編集委員の腕の見せ所！もっと読んでいて、写真を見てドキドキするような臨場感と筆者の感想を！！！！
- ・主語と述語の関係が途中からわからなくなる文章が多いので、句読点を効果的に使い、筋の通る美的文章にしましょう。